



漫 録

地方官界大異状あり



雲 外 鶴 生

後藤内相の就任以來地方行政に新清な空氣を注射する必要から地方官界に大震動を加へんとする意圖があるとは屢々報道せらるゝ所であつたが、其震幅震度及上下動か横ゆれか一向に見當がつかないのみでなく何時實現せらるゝか愼慮大臣の名稱さへある少壯後藤内相の事として中々其表現は窺知することを許されなかつた。

時節は到來した、政友會就中鈴木總裁の主流派の動は追日政府との正面衝突に導くの雲行が見えて來た、さらでだに地方官界の行詰りは身分保障令の爲めに新進待機者達を苦惱呻吟せしむるに至つたのである、夫れで後藤内相は

斷乎として地方官交迭の實行を企てた、「果斷は義より來る者あり、智より來る者あり、勇より來る者あり、義と智と併せて來る者あり、徒に勇のみなれば殆し」とは佐藤一齋の言であるが事は正にその通である。後藤内相の心境の動は義よりか智よりか將又勇よりか筆者之を想像する由もないが強ゐて考察すれば義と智とを併せ更らに勇を鼓し之に情を盡した斷行であると謂ふべきであらうか。

近時地方行政の進捗改善を企圖し地方官の成績擧否を調査する策を樹て曩日内相は局長達を各地方に派遣し實査せしめた其調査の結果は如何であつたか外部よりは知る由も

ないが這次地方長官の交迭の跡を視るに左程の重要性を認むる事は出来ない、官吏の身分保障令は官僚主義者の制定した自縛自縛の制度だと評するものがあるが此制度制定の目標は文官をして虚心坦懷至公至平一切の私心私慾を斷つて一意奉公に専念せしむるが爲め其代償として地位保障を與へたるに外ならないから此制度の爲めに地方行政の行詰りを惹起すべき筋合のものではない、夫れが後藤内相をして地方行政の刷新、地方官界の老朽淘汰、地方廳からの黨臭を一掃せんと意圖せしめたのは如何なる事情の存するにや。

這次地方長官交迭の實跡から見ると單に明治四十一年組を退職せしめたので老朽淘汰でないことは明瞭である、もし夫が老朽淘汰の擧に出たものだとすると大臣や將官達の年齢に對比し平仄の合はないことの甚しきものであると謂はなければならぬ、然るに後藤内相が専ら自分と同期生である、四十一年組を任意退職せしむるに至つたのは己むを得ざる方策である夫れで内相の悲壯なる覺悟、勇退知事の友情美談等の同情すべき事實が發生したものである。苟く

も身分保障令が嚴存する以上は後藤内相の意圖が那邊に存するも此制度を無視し破壊する譯には行かぬ、檢察當局が往々犯罪被疑者を任意出頭の形式に依り召喚訊問するのは人權蹂躪の非難を迴避せんが爲めに外ならないものと謂ふべきであるが、後藤内相の任意退職措置も身分保障令を疵付けないことを企てたので、其苦心の點に於て聊か其揆を一にするとの感がする、そこで内相が涙をふるつて退職を懲慚し夫れに依つて虚心坦懷退職した知事は

東京府知事	香坂昌康	京都府知事	齋藤宗宣
大阪府知事	縣 忍	兵庫縣知事	白根竹介
新潟縣知事	千葉了	群馬縣知事	金澤正雄
香川縣知事	木下義介	鹿児島縣知事	市村慶三

の諸氏である。之れに伴ふて交迭した地方長官は左の通りである。

任東京府知事	神奈川縣知事	横 山 助 成
任京都府知事	長崎縣知事	鈴木信太郎
任大阪府知事	内務省地方局長	安 井 英 二
任神奈川縣知事	内務省神社局長	石 田 馨

任兵庫縣知事
任長崎縣知事
任新潟縣知事
任群馬縣知事
任茨城縣知事
任奈良縣知事
任三重縣知事
任靜岡縣知事
任山梨縣知事
任岐阜縣知事
任長野縣知事
任秋田縣知事
任石川縣知事
任廣島縣知事
任香川縣知事
任愛媛縣知事
任高知縣知事
任熊本縣知事
任宮城縣知事
任鹿兒島縣知事

廣島縣知事 湯澤三千男
靜岡縣知事 田中廣太郎
岐阜縣知事 宮脇梅吉
宮崎縣知事 君島清吉
東京府書記官 安藤狂四郎
愛媛縣知事 一戸二郎
社會局社會部長 富田愛次郎
茨城縣知事 阿部嘉七
岡山縣書記官 土屋正三
高知縣知事 坂間棟治
內務省書記官 大村清一
奈良縣知事 兒玉政介
拓務省管理局長 生駒高常
熊本縣知事 鈴木敬一
社會局書記官 藤野惠
關東州廳長官 大場鑑次郎
北海道廳部長 泊武治
山梨縣知事 關屋延之助
警視廳部長 三島誠也
三重縣知事 早川三郎

の諸氏で二十四府縣に涉つての交迭である。此交迭措置についてSD俱樂部の談話室でA老新聞記者とB青年雜誌記者との批評譚を壁に在る耳で立ち聞きしたものを放送して見よう。

A、君知つてるかね優秀善良な府縣知事を良二千石と稱することを君等もよく雜誌に書くがどうかネ、

B、其故事は知らない、

A、ナニ知らない、知らないで書くとは不心得だ、アレはネ、君昔時漢代で一郡の大守は年俸二千石を受けたものだ、夫れで云ふのだよ、

B、分りました、そうすると今我國府縣知事は最高五、八〇〇圓から最低四、六五〇圓の年俸を受くるから良二千石と云ふのは不當ぢやないですか、

A、故事に依る形容語だから良二千石でよいぢや、併し全國府縣知事が悉く良二千石と云ふことはチトあたらないネ、そりや、それと今度の交迭に依つての良二千石諸君に付て君どう思ふかね。東京府の横山氏から話して見たまへ。

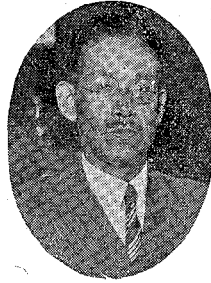
B、東京府はアノ眞面目なキョトントした風な香坂氏が別に彼れ此れ謂はれないのに四十一年組と云ふ點に基いて尤も親交ある後藤内相から因果をふくめ情誼のこもつた相談で多くを語らないでも貴君の立場に敬意を表すと云つてアツサリ任意辭職と出たので横山氏が其後釜に据へられた次第であるが、横山氏は曾ては今の町田民政黨總裁を向ふにまわし政友會候補者となつて政争の渦中に飛び込んだ關係があるが今でも政友會色彩が濃厚かどうか分らない、とにかく帝都の知事から市長となつた隣の牛塚氏よりは評判がよい、政友會の中島守利君あたりとの關係はどうだろう、民政黨の三木武吉君と調子が合ふか。小栗警視總監とはどうかネ。

A、横山氏が淡々感慨もなしと言つて喜びながら帝都入をされた所から見ると更らに才氣を振ふことであらう。次は京都府だが齋藤氏が赴任以來滿二年半で京津京阪兩國道の改良には相當骨を折つたが聊か八方美人主義と思はれた點がないでもない「白紙の感情で内相に會ひ勇退の話が

あつたなら其の上で考慮する」と言つて東上し内相からどう持出されたか別にイヤナ思ひもせずアツサリと辭任されたと傳へられてゐるが其後任は鈴木信太郎氏が長崎から榮進せられた、同氏は地方局の府縣課長もつとめられたから本省の空氣も知つてゐるし、茫洋として捕捉し難い處があるブツキラ棒だが愛嬌があつてまあ圓満居士だネ柔道五段スポーツに陶磁器繪畫觀賞などに趣味がある。京都にはツグリ調子が合ふだらう、岳父床次遞相とは類似の點もあるが「おやぢはおやぢ、おれはおれだ」と云ふ意氣は窺はれる、床次遞相の長女春子夫人を喪はれて聊か悄然として居つた時もあつたが近來は頗る朗な風が見えるネ、次に大阪の方は君どう思ふネ、

B、大阪は客秋大颱風の被害で縣氏も餘程熱力を注いで居つたから、「復興への首途に縣知事を奪ふな」とのスローガンで辻府會議長を先頭に内務大臣に陳情留任運動する處があつた、縣氏もマンザラ悪い感じはずまい、が親しき後藤内相から涙ながらの苦衷を聞かされては潔く退官す

るが男で御座ると思ふたであらう、惜まれながら浪華を去ることとなつたことは同情するさ、ソリヤソウト後任問題は中々内務の首脳部で苦しんだと云ふことちや安井地方局長を榮轉せしめたのは内相も餘程思切つた仕末をつけたものだ、時に其安井氏とはどんな人物かネ、



安井 英二 氏

A、安井氏は岡山縣人で大正五年組だ、人物は中々シツカリして學識もあり研究心にも富み、行く處其職に對し忠實であつて、寡言沈思、一寸親しみ難い點があるが將來に大期待をもたると一人だネ。が地方人を相手にしてはどうかネ、

眞面目すぎる體度で府會議員などと甘く調子を合はして行けるかどうか、何にしろ中央政府向きだよ人材本位穩健公正主義の交迭から飛躍的簡拔を得たのだから十分社會の實情を知悉し、實際行政を體驗した後、再び中央に歸るときはの囑望は大したものだ、地方局長となる前に行政課長を二

度も務めたから地方行政を變理する上の實力は豊かなものだネ。

B、そうすると中々優秀な人物だネ貴下は安井ファンかネ、時に横山氏の後任神奈川縣の石田氏は神社局長からの轉任で今まで神様の前にぬかづいて居つて俄かに人間、而かも横濱と云ふ諸民族雜居と云つた様な地方で最近は特に疑獄事件が續發したが慢性的疑獄の觀を呈して人心不安の地だ神様とは大した隔りがあるが神臭い人物かそれとも人間の性格者かネ。



石田 馨 氏

A、ウム一寸内務畑の異型人物だネ、剃刀の如き鋭さは見られないが明朗な肌合で春風駘蕩然として居る、重厚な性格の人物だネ、夫れに警視廳でも地方の警察部長としても經驗がある又岡山京都の内務部長宮崎千葉で知事も勤めたから、地方行政には十二分の經驗と自信をもつて居るネ。當年五

十一歳だ神奈川には適任だらう。

兵庫縣は白根竹介氏が退いた白根氏は有名な白根專一氏を叔父にもつてゐるから、同型の血液が流れてゐるかも知れぬが中々深み味のある手腕家だ、到る處部下にも外部にも評判が良い人物だ、夫れが四十一年にたゞられての任意退職だ本人は少しも未練がましい思はず、頗る同情するネ、併し時勢の廻轉で捲土重來の機會もあるだらう、其後任は廣島から湯澤氏が來た、此湯澤氏は下野の大自然界に産れた人物で明朗で透察力をもつて實行力に溢れてゐる、夫れに東大經濟科出だから經濟的才能に富んで居るが地方行政にはハマリ役の人物だ、昭和七年内務省で産業振興土木事業を創設した積極的時代に土木局長として手腕を發揮したことである。同年の六月に廣島縣に轉じ、二年七月の間同縣土木事業が一大飛躍を見たのは全く汎澤知事の努力の結果である。その上産業方面農村の振興にも努め純眞な農村青年の叫び聲にも耳を傾けると云つた様な活動振であつたから内外とも大人望を得た、兵庫縣に取つては眞に

最良二千石を獲得したものだよ。

B、貴下もナカ／＼八方美人主義だネ、如才なく褒めるぢやないか、靜岡から長崎へ轉じた元田園東翁の女婿田中廣太郎氏は、どうかネ地方新聞の三面記事などの種もあるぢやないか。

A、イヤ苟くも人間が満々たる活氣をもつ以上新聞記者から無視せらるゝ様なことはない、夫れあるかなぢや、新聞の記事なんかアノ快活なユーモリスト風なそれで眞劍味をもつ田中氏にとつては何んでもない事ぢや、地方財政家の一人者を以て許され、八面玲瓏巧妙な座談家、四段の手前をもつ將棋さし、人情味の豊かな人物で、而かもよく談しよく飲み、酒も煙草も相當の嗜好物である、夫れに芳濤との雅號を以て和歌に堪能で「岩間の藻草」と云ふ歌集を公にせられたことぢや、靜岡を去るとき「いとせめて夢に通へ朝な夕な仰ぎし富士のなつかしき影」と詠じた愛着な程がわかるだらう。長崎に遺る異國情緒を吟味せられ、其詩想を練られたなら自ら慰まるゝ所少くないであらう

尙長崎縣の財政建直しを緊急とする今日全くのハマリ役だ
ネ、君は四國の産ちやが新潟の新知事宮脇梅吉氏の事は僕
よりも詳しく知つて居るだらう。

B、イヤ隣縣の香川出身だから詳しくは知らない、夫れ
に四十二年組の五十二歳といふから歳が大分違ふので實際
などしたことはないが、今司法官と鬭争最中の元鐵道大臣
の政友會代議士三土忠造氏の令弟だと云ふ事ぢや、別に政
治上の意見を同じうして居るのではない、一見蠻骨稜々と
して居つて喧嘩好の様だが内心は中々如才がない、岐阜縣
では水戸黃門公を眞似て變裝して民情の視察などもして農
村更生意見を公表し水害と小作民騷動で有名な岐阜で働い
た其功績を認められて新潟の大縣に一足飛びをしたものだ
との事だ、「日本一の農業縣のことぢや百姓知事が適任と
見へる」と多くを語らずして内心朗な心持ちで赴任すると
の評判ぢや相當働くことぢやろう、群馬の君島清吉氏は、
どんな人物です。

A、君島氏は内務省に十六年間も勤務して社會局の勞働

課長から宮城香川の知事を勤めた八年七月の交迭で香川縣
でやめられた政黨臭のある木下氏の後任として宮崎へ赴任
した、神武天皇の御東遷祭を滞なくすまし、産業財政調査
會を起して縣經濟の更生策を講ずるなど慎重な態度で着々
奏功した、群馬への榮轉もさる事ぢや同知事は豪放磊落で
頭腦も明晰ぢやが時に脱線振を發揮することがあつて此頃
の官僚型ぢやない。尙ほ一通り知事から知事へ轉じた人物
を紹介しておく、愛媛から奈良への一戸二郎氏は最年少の
知事殿で明治二十七年生れの三十九歳大正六年に京大を出
られた社會局の勞政課長から知事として始めて愛媛に來た
が中々のやり手で難縣の愛媛を克服すべく有名な銅山川の
分水問題の解決にも献身的盡力をした誠意誠心家の一人ぢ
や「だませばだまされましょが、わしやだましやせぬ」と
おつじやる程事程左程にくだけた良二千石であるので、大
に將來を期待される、静岡へ茨城から來た阿部嘉七氏は昭
和七年六月茨城に着任すると全縣下を隈なく行脚して縣下
の實情を調査してから新興農場を建設した、同縣に關係の

深い血盟團事件や五・一五事件の直後で思想警察の確立にも全力を注いだ功で静岡へ榮轉したものでらう、圓滿協調主義で而かも清廉な性格の持ち主である「謹嚴知事」とのニックネームがあるので其性格が知られる、田中芳溪知事の後任としては好コントラストの觀がする、坂間棟治氏は高知縣に在ること三年半海南中學と城北中學合併問題では著任早々相當惱まされた荒廢地復舊砂防工事事業などを余て専ら縣財政の建直しに努力し客秋の颱風善後處置の功勞も縣民から大に感謝されて居る、大太平洋の怒濤打ちよする南海から山の國川の國の岐阜縣へ轉任した、第二の故郷の思ひがするとの事ぢや大に奮勵することであろう、奈良から秋田への兒玉政介氏は、山口縣人で工學博士兒玉隼槌氏の養嗣子ぢや、大正五年帝大を出て、内務畑に入りトント、拍子の榮進だ、老博士もサゾ喜ばれてゐる事ぢやろう、野球、庭球、水泳、ゴルフ、スキー、ボート、乗馬登山とスポーツなら何んでも御座れで自動車も運轉する、尺八、謡曲、常盤津、淨瑠璃なども御自慢藝だ、多趣多藝で器

用なものぢやが、秋田音頭は朝めし前であろう。奈良の在任一年足らずでも風水害の對策農務林務商工の行政刷新を講じたものだ自重自愛他日の大成功を祈る次第ぢや。熊本から廣島への榮轉者鈴木敬一氏は在任二年六月の間あの政争で有名な熊本、政黨時代には知事が交迭すると縣廳の小使まで交迭すると云ふ風な地で安達、小橋、大藤、上塚などの大政治家を前にして著々縣財政の整理を實行した手腕家である、阿蘇の煙を後にして瀬戸内海のなごやかな汐風に吹かるゝこととなつたも苦勞人に取つての報酬であらう。山梨から熊本へ榮轉の關屋延之助氏は大正三年東大を出て直に官界生活に入つた當年四十八歳の働き盛りだ、曾て北海道拓殖部長として七年間も孜々として其職に忠誠を盡した「萬年部長」などと紳名をつけられたが拓殖事業上の功績は決して鮮少でない、圍碁は初段近くで弓術は若槻男に迫る腕前ぢやとの事だ、隱忍自重事に當る底の人物ぢや、熊本でも大に功績を擧げらるゝことであろう。早川三郎氏が三重から九州南端の鹿兒島への轉任は聊か同情する

よ、穩健着實な風だが佐賀縣知事時代に激烈な反對を押し切つて學校問題を解決したるが如き勇猛心と果斷力をもつておる性格者の早川氏である神風の吹く伊勢の大橋から床次王國へ二號國道は通して居るのぢや、實業教育の振興や學校の整理山道の改修、伊勢大橋の開通、伊勢電の中京乗入などの功績をたゞへらるゝ身だ心残りもあるであらう。

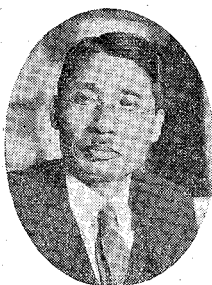
二見の浦の旭出も佳景だが姿は崩れたれど櫻島の雄大な風光はまた格別ぢや、暫らく中部進出の英氣を養はれて可然だらう、市村人情知事の骨身を惜まなかつた足跡を踏んで、更らに一段の功績を擧げられたい、B君どうだね、ナニ、よく知つとるかと兎耳の働サ。これから新に良二千石になつた諸子について話そうぢやないか、K君何か御用ですかナニ、良二千石の故事を教へてやろうかと、どうぞ、これですか御役人は眞面目で親切ですネ、讀んで見よう、「西漢孝宣皇帝……政平ニ訟理一也。與我共レ此者、其惟良二千石乎。以爲太守吏民之本。數々變易則民不レ安。故二千石有ニ治理之效。輒以ニ璽書ニ勅勵。増秩賜レ金公卿缺則選諸所レ表。

以レ次用レ之。漢世良吏於レ之爲レ盛。」多謝々々。

B、貴下は矢張り記者界の元老株ぢや、よくもそう人物月且がスラ／＼と話されることぢや、新進知事達はどうですか、内相の顧問役には恰當な貴下だ、後學の爲め教へて呉れ玉へ、狭間前人事課長に伺つて見ようと思ふちよるがニヤリと一笑さるゝ計りぢや得る所なしだ夫れかと云つて唐澤局長や丹羽次官へは僕等若輩は近より悪い、どうです最早天機を洩らしても内務省の出入を禁止さるゝ譯でもなからう。

A、イヤに持ち上げるぢやないか、内情曝露は禁物だ、よし、簡單にしくさり話す事としよう、勅任官の身で始めて知事になつたのが、元内務省社會部長富田愛次郎、元拓務省管理局長生駒高常、元關東州廳長官大場鑑次郎、元北海道廳土木部長泊武治、元警視廳警務部長三島誠也の五氏で奏任三等から知事になつたのが元東京府内務部長安藤狂四郎、元岡山縣内務部長土屋正三、元内務省地方局財務課長大村清一、元内務省社會局社會部保護課長藤野惠の四氏で、初任知

事としては九人である、イデヤ右の順で一言述べてよみう、富田三重縣知事は社會局で五ヶ年間も勅任で経過し忠實に其職務に従事したことから見ても其溫和な着實性が認められる、大正二年京大を卒業し當年五十一歳社會政策に關する立法者としては一人者である、うるさい三重縣で、どう其手腕を現はさるゝ事であらうか、生駒石川縣知事は兵庫縣水



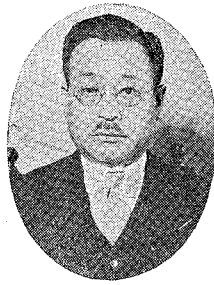
富田愛次郎氏

上郡柏原の舊藩織田家の一家老の家に生れた「柏原に過ぎたるものが三つある太鼓八幡生駒主水」と唄はれた其主水の子孫

だ當年四十七歳、大正十二年東大を卒業大藏省屬を官界の初舞臺とした小山法相を義兄にもつ、曲つたことが大嫌ひで情實を排して直截簡明な率直な人物である、野球には素人ばなれした手腕をもつて居る、登山に興味をもつておると見へ「サア室内には縁がなくまづ山登り位のものだ」と自白される程である風水火災の善後策實行の局

に當ることぢや十分に二十貫の大兵な其鐵腕を振つてもらいたい。大場愛媛縣知事は山形縣人で四十九歳の働き盛の年である、明治四十四年東大を卒業して官界へのスタートは愛媛縣警部で爾來東京府臺灣總督府關東廳に歷任したが、學校の成績は常に優秀で、温厚寡言だが膽が据つてゐて内心利かぬ氣の強いところがある、曩に在滿機構改正問題で其氣分を現はしたのは當然の事ぢや其意氣で縣下の難問題を解決してもらいたい。泊高知縣知事は石川縣人で當年四十七歳、大正四年東大を卒業し官界に入つては警察方面に在つた事が多い、神樂坂署長時代など其任侠的行動は人望を搏したものだ性は快活恬淡で而かも中々細心な所がある、函館大火災の後始末で佐上長官を援けて大きな手柄を現はした、濱口氏逝いて政界に人なく僅かに有名なるは富田幸四郎氏のみのお観がある土佐の國ぢや、議論は三食よりもすきだと謂はれたのは昔時の事、今は中々功利主義に墮しておると他縣人から評せられても、まだ、まだ口達者な連中のある所だ、殊に土木事業方面に盡すべき所多大で

あるから前任地で振られた手腕で大きな功績を挙げられた
い。三島宮崎知事は熊本の子で、明治二十七年一月
の四十二歳である、大正七年に東大を卒業し宮崎縣屬を振
出しに官界の人となつて地方行政には深甚な經驗をもつて
おる其性格は剛直であるが柔か味もある定めて其蘊蓄した
る力量を現はさるゝことであらう、地方長官として前途有



大村 一 氏

爲の待望を囑されて居る
一人である。安藤茨城縣
知事は大分縣の出身で大
正七年東大を卒業し官人
となつて内務畑に人とな

つた昨九年二月東京府内務部長となつたが温良着實な働き
振で克く香坂知事を援けて府政の掌理に盡力した將來有望
の地方長官である土屋山梨縣知事は静岡縣下田出身で本
年四十四歳、東大を卒業したのは大正六年で官界では内務
畑で育つた、歐米視察に派遣せられたこともある、大正十
三年帝都灰燼の後始末に當つたのは警保局勤務時代で、其

過勞の爲病氣となつたが期年ならずして全快し、再び官人

となつて多く警察事務に従事した、頭腦明敏で、讀書家で
偉大な肉體の持主である、前任地岡山で惜まれておる所を
見ても其忠實な循吏氣質が窺はるゝ、大村長野縣知事は
岡山縣津山の出身で本年四十四歳、農學校から高等農林學
校を経て京大を大正六年卒業した異型の人物である、非常
な秀才で五尺二寸位の身長の保持者であるが、ガツシリし
た體軀者である、夫れに中々ねばり強い性格がある。對談
すると實に赤裸々な心持よい印象を與へらるゝ、帝大を出
て内務屬となつたが自ら進んで東京市事務員となり又郡長
となつた川崎卓吉氏と同じ徑路を辿つて大村氏も大正十

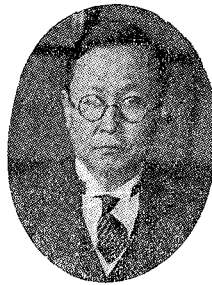


岡田 周 造 氏

年東京市吏員となつて地
方行政の實體に觸れた經
歴をもつた、地方財政に
關する見識は他の追隨を
許さない、内務畑の異型

人である、碁將棋、麻雀、野球、庭球、スキー、ゴルフは

玄人の境に迫る手腕がある、酒も飲んで量なしと云ふ程度で誠に一個の快男子で甫めて地方長官となつたが其手腕の程は想像するに難くない、少壯地方長官中最適材として地方局長に飛躍一番せられた岡田周造氏の後任となつた、兩氏とも本省財務課長の經歷をもつ關係がある大村知事も亦自重しよく其職責を完ふせられんことを祈る、藤野香川縣



藤野 惠 氏
知事は廣島縣福山市の出身である、内務省人事課長から社會局社會部長に榮轉せられた狭間茂氏と福山出身官界出世二人男

の一人である、藤野氏は東大を卒業したのが大正八年七月で群馬縣屬か官界への振出しで郡長地方事務官に歴任し同十三年社會局に轉じた、其後國際労働會議の爲めジュネーブや視察の爲歐米に出張した事もあるが性は眞摯熱誠、執務振はあざやかなことである、嗜好娛樂は取り立て、言ふ程ではないが、圍碁、麻雀は相當の腕前とのことぢや、眞

面目の裡にも聊かユーモラスな氣味を感じらるゝだから社交的には申分はあるまいが何分飛躍榮進組の一人である大に自重さるべきであろう。B君どうだネ部長級の意見はB、ソウですネ、部長以下にも大變動が行はれた、夫れは知事の交迭と内務部を分割して總務部と經濟部とに分けた結果であるが之が爲め二百有餘名程の入替や榮轉や退職が視られた、地方行政の更始一新策として如何なる効果を擧ぐる事となるや他日に徴するの外はない。殊に經濟部長に新任せられた諸氏は初代の部長として、其の責任は甚だ重しと謂はるのである。經濟部の新設が今後如何なる効果を擧ぐるや否やは専ら此の初代部長の働きに基くことである。而かも府縣に依つては土木部長の存する地もあつて、經濟的關係に就いては中々氣骨の折れることもあろう。相手が土木技術者であるから技術と經濟とをコントロールすることは餘程の苦心を費さねばならぬ事である。殊に經濟方面に經驗をもたれざる部長は一段の努力を要することは疑ひがない。經濟部長諸氏は自重せられんことを僕は切望する。尙新經濟部長諸氏の經歷を調べて居るが其事は次に話すことにしやう。